

JR九州における「安全プロモート研修」について

No.117

阿部 秀俊
九州旅客鉄道株式会社
鉄道事業本部 安全創造部

はじめに

弊社では、2010年より「安全プロモート研修」を、毎年10数名を対象に開講しており、これまでに第10回生まで、計121名が卒業し、卒業後は「セーフティープロモーター」として各職場における「安全のキーマン」となり活動しています。

目的

本研修の開講以前は、安全に関しては事故に対する事例検討や危険予知訓練の実践など、再発防止に向けた「手法」を学ぶ研修は実施されていましたが、事故の怖さや責任の重大性・社会的責務の重要性、お客さまの命を預かる鉄道従事者としての使命や心構えなど、「安全の重み」を体系的に教育する研修は実施されていませんでした。

また、弊社では、2006年より安全に関する取り組みとして「安全創造運動」を展開しているにもかかわらず、確認疎漏や怠慢による取り扱い誤りやヒヤリハットが減少しない状況から、現場社員に対して「意識面」に重点を置いた研修を実施し、高い安全意識と深い知識を備えた「安全のキーマン」を育成することを目的に開設されました。

研修内容

本研修の期間は2年間で、1年目は社外講師による講義や、鉄道・航空などの他会社の安全研修施設の視察などを行っており、2年目は1年目に学んだことを活かして研修生が所属する各職場において安全に関する活動を行います。そして、その取り組み内容と成

果について、それぞれの現場長が同席する活動実績報告会を行っています(図1)。本研修の修了時には、今後の一層の活躍を期待して修了生に修了証を授与しています(図2)。研修における講義内容についてですが、鉄道総研に講師を派遣していただき、弊社で発生した事故や取り扱い誤りなどを題材に問題点の分析や対策についてのグループワークを実施し、その中で「事故のグループ懇談」に関するご指導をいただいています。また、社外講師によるソーシャルスタイル理論を基にした性格の分類法とそれぞれの性格に対する効果的な指導方法についての講義を実施するなど、研修生が「安全のキーマン」としてのスキルを高められるような教育を行っています。

研修修了後と今後の研修について

本研修のような研修は、受講直後のモチベーションが時間の経過とともに徐々に下がっていくことが懸念されます。この対策として、年度ごとに策定している会社全体の安全施策の次年度の方針や、弊社におけるヒヤリハット対応の仕組みである「安全に関する社

員の声」の目的や意識してほしい点などに関して、セーフティープロモーターが所属職場の社員に対し説明を行う機会を設けています。また、年に数回、ほかの職場の安全についての取り組みや他会社の安全に関する設備を視察し意見交換を行うなど、修了生が高い安全への意識を保ち、かつ、視察で得たものを各職場に持ち帰り水平展開に取り組むなどして安全への取り組みを行うにあたり、より活動がしやすいような仕組みを作っています。

おわりに

第1回の開講から10年が経過しており、これまで行ってきた研修のカリキュラムについて見直しを行い、より効果のある研修内容にブラッシュアップしていくことも必要であると考えています。安全は「トップダウン」だけでなく「ボトムアップ」が重要です。各職場において安全意識の高い社員を育成し続けることが弊社の安全レベルを向上させることにつながると考え、これからも研修を重ね、より多くのセーフティープロモーターを育成していきます。



図1 活動実績報告会の様子



図2 修了証の授与